

■第2期 島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 達成状況一覧

政策分野	中項目	小項目	重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)		
						H30	R2	R3	R4	R5	R6						
I. しごとをつくり、安心して働けるようにする																	
			農業所得600万円以上の経営体	経営体	区分	目標値	240	250	260	270	280	290	経営の基礎となる農地の整備や農業施設・機械の導入を支援制度活用により、経営規模の拡大等を進め、所得の向上を図ってきた。	各種支援事業の活用等により、農業所得600万円確保が可能となる経営規模の農家は概ね目標どおりとなっており、一定の効果があったものと判断できる。	今後も農地バンク（農地中間管理機構）の利用による農地集積・集約化を促進、農地の圃場整備、近代的な農業用施設や農業用機械の導入支援等を進め、産地の維持・強化を行い所得の向上を図る。		
			実績値			252	258										
			達成率(%)				100.8	99.2									
			農業・水産業新規就業者数	人/年	区分	目標値	17	17	17	17	17	17	【農業】 地域の担い手となる各地区の農業後継者団体及び4Hクラブへの加入を推進等、情報発信等により、担い手の確保に努めた。その他、新規就農相談においても島原振興局と連携して、就農者のこれからの就農ビジョンについて相談を随時実施した。 【漁業】 県の「ひとが創る持続可能な漁村推進事業」を活用して新規就業者数の確保に取り組んだ。	【農業】 各地区農業後継者団体等との連携により、新規就農者数は目標値を超えており、地域の担い手確保に一定の効果があったものと判断できる。 【漁業】 漁協を通じて、県の補助事業を活用した新規就業者の確保に取り組んだが、令和3年度は研修利用者がおらず目標を達成できなかった。	【農業】 今後も島原振興局と連携してきめ細かな新規就農相談を行い、安心して就農できるよう地域でサポートする体制を構築するとともに、各地区農業後継者団体及び4Hクラブの加入促進により、地域に定着できるよう支援する。 【漁業】 県の補助事業を活用して、引き続き新規就業者の確保に努めていくとともに、新しく追加された研修コースについてもPRし研修者の確保に努めたい。		
			実績値			20	19										
			達成率(%)				117.6	111.7									
			高校新卒者の市内就職率	%	区分	目標値	27	28	28	29	29	30	長崎県（島原振興局地域づくり推進課）、島原市、雲山市、南島原市、ハローワーク島原、ハローワーク諫早、島原商工会議所、有明町商工会などと連携し、「島原半島若者定着促進協議会」を平成30年度に立ち上げ、島原半島企業ガイドブックの作成をはじめ、高校3年生を対象に企業説明会を実施し、地元企業を知ってもらう機会を創出した。	令和3年度卒業者のうち就職者は31%（98人）うち市内就職24%（24人）、県内就職37%（36人）県外就職39%（38人）という結果だった。市内就職率は令和2年度の26%から24%に減少したが、県内就職率は令和2年度の25%から37%に上昇している。	高校生、教員からは高い評価を得ているほか、地元企業を知ってもらう数少ない機会であるため、継続して実施していきたい。	就職者の割合が年々減少している。高校卒業後だけでなく、大学や専門学校を卒業した後に地元に戻ってくるという選択ができる環境が必要だと考えられる。	
			実績値			26	24										
			達成率(%)				92.8	85.7									
1. 所得向上を図るとともに、新しい技術や環境に対応し、農林水産業全体の活性化を図る																	
(1) 農地集積の促進と生産基盤の整備																	
			畑地の整備率（累計）	%	区分	目標値	19	20	22	24	26	26	県営農地整備事業を活用し、畑地の基盤整備を実施してきた。	微増ではあるがR3年度に畑地の整備を1.6ha行っており、確実に事業を進めていることにより、営農作業の省力化が図られている。	今後も県営農地整備事業を活用し、農地基盤整備を実施することにより、農作業の効率化、生産量及び農業収益の向上を図る。	農地の基盤整備を実施し、農地の形状および道路の拡幅など利便性の向上により、大型機械の導入や大型車両による輸送が可能となり、農作業の効率化及び農業所得の向上が期待される。	
			実績値				20	20									
			達成率(%)				100	90.9									
			担い手への農地集積率（累計）	%	区分	目標値	62.2	67.2	69.8	72.1	74.9	77.2	農地中間管理事業を主体として、農業委員会との協働体制の下に、新たな担い手への農地集積と集約化の加速化を図った。	農地中間管理事業の活用により、非担い手から担い手への農地集積や集約化の加速化が図られ、農地賃借が流動的に行われたが目標の達成とは至らなかった。	引き続き、農地の賃借が頻繁に行われる見込みがある農地基盤整備地区や推進地域への事業周知や推進活動を行い、農地中間管理事業による農地利用の効率化および農地集積率の向上を図る。		
			実績値				64	64.9									
			達成率(%)				95.2	92.9									
			「水産多面的機能発揮対策」取組項目数	項目	区分	目標値	16	16	16	16	16	16	島原地区環境・生態系保全活動組織9項目、有明地区環境・生態系保全活動組織6項目に取り組んだ。（計15項目）	令和2年度まで有明地区活動組織が海難救助訓練の取り組みを行っていたが、ほとんどの構成員に対し講習を完了したことから令和3年度から活動メニューから削除した。	現在の活動で効果が低い活動については組織と協議し改善または廃止を検討する。アモモ場保全のための土壌設置など、効果の高い活動事例を取り入れながら引き続き活動を行う。		
			実績値				16	15									
			達成率(%)				100	93.7									
(2) 収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化																	
			農業所得600万円以上の経営体	経営体	区分	目標値	240	250	260	270	280	290	経営の基礎となる農地の整備や農業施設・機械の導入を支援制度活用により、経営規模の拡大等を進め、所得の向上を図ってきた。	各種支援事業の活用等により、農業所得600万円確保が可能となる経営規模の農家は概ね目標どおりとなっており、一定の効果があったものと判断できる。	今後も農地バンク（農地中間管理機構）の利用による農地集積・集約化を促進、農地の圃場整備、近代的な農業用施設や農業用機械の導入支援等を進め、産地の維持・強化を行い所得の向上を図る。		
			実績値				252	258									
			達成率(%)				100.8	99.2									

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値						これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)	
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6					
			スマート農業に取り組む経営対数 (累計)	経営体	目標値	6	7	8	9	10	11	本市の基幹産業である農業については、その従事者の高齢化が進展しており、将来にわたり産地を維持していくためには、新たな担い手の確保とともにスマート農業技術の導入による省力化が必要不可欠である。これまで施設園芸品目を中心に省力化技術の導入支援を行ってきたが、令和3年度については、いちご5経営体に対し、ハウス環境モニタリングシステムの導入支援を行い、また、2経営体に対し、ドローン操縦技能認証取得の支援を行った。	ハウス環境モニタリングシステムの導入により、地温、地温等のハウス環境がスマホでリアルタイムで確認でき、適期作業が可能となり、いちごの高品質化と省力化を図ることができ一定の効果があつたと判断できる。また、ドローン操縦技能認証の取得者は、令和4年産水稲の防除受託を行い、市内の水稲生産にかかる作業の省力化を図り、高齢農家や兼業農家の労力不足の一部解消につながり、一定の効果があつたと判断できる。	スマート農業技術は今後必要不可欠な技術であると考えられることから、花き以外の施設野菜生産者や露地品目生産者へスマート農業技術の導入支援を行っていく。		
					実績値		12	15								
					達成率 (%)		171.4	187.5								
			海藻類生産量	トン	目標値	283	360	420	480	540	600	ワカメ養殖の生産性を向上させるため、魚等による食害を防止するための食害防止網を試作し、漁業者へ提案した。	目標を達成することができた。(H31年度数値)	ワカメの生産量を増加させるため、有明漁協によるワカメ養殖施設の整備と、島原漁協管内における食害防止網の普及を行いたい。	R3年度はH31年度の統計数値を記入。	
					実績値		177	473								
					達成率 (%)		49.1	112.6								
			新たな養殖技術の開発数 (藻類除く)	件	目標値	2	3	4	4	4	4	アカウニの試験養殖 (陸上養殖) 及びナマコの試験養殖 (陸上養殖) に取り組んだ。また、有明漁協によるカキ、島原漁協によるアサリの海面養殖試験に取り組んだ。	アカウニとナマコの複合養殖を行うことで、水槽清掃等の簡素化を図った。さらに新規で有明海に適した貝類 (カキ・アサリ) の海面試験養殖に取り組んだ。	アサリに関してはイベントで試験販売を行い好評であったため、今後漁協と協力し養殖・加工手法の確立に取り組む。カキは飼育方法を見直し、試験養殖を継続する。	トラフグ、アワビに加えて、アカウニ、ナマコ、カキ、アサリの試験養殖に取り組んだ。(計6件)	
					実績値		4	6								
					達成率 (%)		133.3	150								
			スマート漁業のための施設整備数	件	目標値	0	0	1	1	0	1	赤潮による被害抑制のための予兆検知を行うため、長崎大学が実施するドローンを活用した海上からの採水ボトルによる海水採取ができるフィールド提供に支援した。	市が主体で実施していないため、評価なし。	ワカメの自動刈り取り機の整備による作業の効率化やICT機器による海藻類の漁場環境把握、さらにドローンの活用による海藻類の食害対策を行いたい。		
					実績値		0	0								
					達成率 (%)		-	-								
			雑魚を活用した新商品開発数	件	目標値	0	1	0	0	0	0 (1)	「島原Zakkoプロジェクト会議」を1回開催 (7/29) し、加工品の開発及び市内イベントでの配布に取り組んだ。	Zakkoを活用した「ざっころ」が完成し、市内のイベントで配布し、アンケートを取りまとめた。	今後は都市圏の飲食店に雑魚を販売するための流通ルートの開拓などに取り組む。		
					実績値		0	1								
					達成率 (%)		-	100								
			高等学校新商品開発 商品数 (累計)	商品	目標値	7	9	11	13	15	17	島原市に所在のある島原商業高校の生徒活動による、島原地域の多様な豊富な農林水産物や地域資源を活用した新商品開発に対する取り組みを支援する。	令和3年度については、島原商業高校の生徒による「ざぼん漬」を使用したスイーツ (ざぼん4兄弟、TheボーンCAKE) 開発。【連携企業】森島屋 ・「ざぼん漬け」をいろいろなお菓子に使用して、新しいスイーツを開発。 ・島原らしさやざぼん漬けを表現するパッケージや商品ラベルを考案。	・島原市内の各高校へ訪問し、事業内容の周知に努める。 ・高校生の商品開発と市内の事業者とのマッチング支援を行う。		
					実績値		13	15								
					達成率 (%)		144.4	136.3								
(3) 多様な担い手の確保・育成																
			Uターン農業受入者数 (累計)	人/年	目標値	0	1	2	3	4	5	例年関係機関と連携して都市部での移住相談会や情報発信を行っていたが、新型コロナウイルスの影響で都市部での移住相談会は実施できなかった。	各種情報発信を行ってきたが、受け入れるまでには繋がらなかった。	長崎県新規就農相談センター・振興局・県農業大学校との連携を図り、本市農業の魅力と支援制度を発信するとともに、R4年度からJA島原雲仙で実施される農業研修の周知等を支援し、Uターン者の確保を行う。	市単独のUターン農業研修支援事業について、制度創設からR3年度まで実績0であったため、R3年度をもって廃止した。	
					実績値		0	0								
					達成率 (%)		-	-								
			新規就農者数	人/年	目標値	15	15	15	15	15	15	地域の担い手となる各地区の農業後継者団体及び4Hクラブへの加入を推進等、情報発信等により、担い手の確保に努めた。その他、新規就農相談においても島原振興局と連携して、就農者のこれからの就農ビジョンについて相談を随時実施した。	各地区農業後継者団体等との連携により、新規就農者数は目標値を超えており、地域の担い手確保に一定の効果があつたものと判断できる。	今後も島原振興局と連携してきめ細かな新規就農相談を行い、安心して就農できるよう地域でサポートする体制を構築するとともに、各地区農業後継者団体及び4Hクラブの加入促進により、地域に定着できるよう支援する。		
					実績値		19	19								
					達成率 (%)		126.6	126.6								
			(株) エヌによる外国人労働者の受入人数	人	目標値	0	2	3	4	5	6	・公舎管理は県、入居者の住環境充実・就労はJA、労務管理・各種手続きは(株)エヌが支援している。 ・入国制限緩和のルールに従って入国した外国人材を採用している。	・梅園公舎入居者の就労状況 島原市：15人、雲仙市：10人、南島原市：2人 ・農家圃場での作業も順調にこなし、作業も丁寧で、農家も助かっている状況である。	・全国的にも先進的な取組として、夏場の農閑期に一部の外国人が長野県や北海道に派遣されており、今後も継続する予定。 ・地域との交流活動についても、今後はより密着したものを行っていききたい。		
					実績値		5	5								
					達成率 (%)		250	166.6								
			水産業新規就業者数	人/年	目標値	2	2	2	2	2	2	県の「ひとが創る持続可能な漁村推進事業」を活用して新規就業者数の確保に取り組んだ。	漁協を通じて、県の補助事業を活用した新規就業者の確保に取り組んだが、令和3年度は新規研修希望者がおらず目標を達成できなかった。	県の補助事業を活用して、引き続き新規就業者の確保に努めるとともに、新しく追加された研修コースについてもPRし研修者の確保に努めたい。		
					実績値		1	0								
					達成率 (%)		50.0	-								

政策分野	区分		重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)		
	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6						
2. 地場産業の振興による、産業の活性化を図る	(1) 中小企業の経営基盤強化の支援																
	島原市中小企業振興資金の融資実行件数 (累計)	件	目標値	12	25	39	54	70	87	令和3年に利率の改定を行い、年利1.8%から1.4%へ引き下げた。以降の年度においては制度周知に努めた。	令和3年については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国から無利子無担保融資等、強力な融資制度が打ち出されたことから、ほほ市の制度融資が活用されていない。令和3年度の新規融資は1件。	国特別利子補給制度が9月末で終了となり、今後、需要増が見込まれるので、周知に努める。					
			実績値		20	21											
			達成率 (%)		80.0	53.8											
	(2) 中心市街地における商業機能の活性化																
	アーケード内新規出店 (累計)	店	目標値	0	1	2	4	6	8	平成30年度から「しまばら出店応援ナビ制度」による新規出店のマッチング支援や、商店街活性化事業補助金による店舗改装費等の支援を行った。	令和3年度においては、万町商店街で1件、森岳商店街で1件の合計2件の新規出店があり、中心市街地の活性化を図った。	商店街と連携を図り、制度の周知や空き店舗登録数を増やして制度の利用促進に努める。新規出店はあっているものの、新たな空き店舗も出ており、引き続き中心市街地における商業振興に努めていく。					
			実績値		3	5											
			達成率 (%)		300	250											
	(3) 企業の立地と地場企業の拡大の推進																
	支援企業における新規雇用者数 (累計)	人	目標値	39	41	43	45	47	49	九州ロンナーの跡地 (三会) に、島原ソーイング (株) が居抜きで入ることになり (増設)、「島原市企業立地促進・雇用創出事業」の奨励金の申請があったため、審議会を開催・審査実施し、島原ソーイング (株) に対して、奨励金を交付することが決定した。	島原ソーイング (株) の三会工場増設に伴い、令和3年度中に50人の雇用が創出された (正規: 34人、短期: 16人)。	市内の事業者の事業拡大や新規事業開始を引き続き支援していく。					
			実績値		45	95											
			達成率 (%)		109.7	220.9											
	IT、IoTセミナー数	回/年	目標値	3	3	3	3	3	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、セミナーの開催は自粛したが、メールの送信や企業HPお問い合わせからの営業活動を実施。	セミナーの開催はできなかったが、「島原でしてみねテレワーク支援事業補助金」を利用して、本市でテレワーク体験してもらった。	地方創生テレワーク交付金を利用した「サテライトオフィス等開設支援事業」を進め、本市にサテライトオフィスの開設、当該オフィスへの県外企業の入居誘致活動を推進する。					
			実績値		0	0											
			達成率 (%)		-	-											
	(4) 創業・起業支援の強化																
	新規創業件数 (累計)	件	目標値	35	40	45	50	55	60	平成27年度から専門支援員を配置した創業支援ワンストップ相談窓口として「しまばら創業サポートセンター」を設置し、経営面、財務面、労務面等様々な創業支援を実施した。	一定程度の創業者は創出できているものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により創業者数が伸び悩んでいる。	今後も引き続き周知に努め、創業企画者の支援を行う。					
			実績値		44	48											
			達成率 (%)		110	106.6											
	(5) 中小企業の事業承継の支援																
	事業承継件数 (累計)	件	目標値	47	52	57	62	67	72	しまばら創業サポートセンターで事業承継の支援を行うとともに、商工会議所・商工会と連携して事業承継のサポートを行った。併せて県事業引継ぎ支援センターの周知を図った。	各団体と協力しながら承継の支援を行うことができており、今後も引き続き効果を持続させる。	今後も引き続き周知に努め、事業者の支援を行う。					
			実績値		95	126											
			達成率 (%)		182.6	221											
	(6) 特産品のブランド化の促進																
物産展等の開催数	回	目標値	8	10	10	10	10	10	例年開催していた福岡三越での島原フェアが、コロナ禍で開催できない中、県内での物産展を基軸に取り組み、令和2年度から継続して長崎浜屋百貨店での物産展を開催した。	新型コロナウイルス感染症の影響で、従来開催していた県外での物産展の開催は困難であり、各物産展の開催も中止が相次いでいるが、長崎浜屋百貨店での物産展では目標設定額を上回ることができた。	物産展においては、長崎県内のを基軸として、本市事業者の実情に応じた形態で開催していく。						
		実績値		7	3												
		達成率 (%)		70	30												
特産品認定制度認定商品数 (累計)	商品	目標値	112	117	122	127	132	137	島原市特産品認定制度認定審査会を令和3年7月と令和4年3月の2回開催した。全10社11商品の申請があり、その内の9社10商品が認定となった。また、9社の内3社が新規の申請者だった。	令和3年度の更新対象は、第7・8・13・14期の認定品で全29商品の内、25商品が更新となり、認定商品は118商品となった。	新たな特産品の掘り起こしに併せて、既存認定事業者の販路拡大等に繋がる支援を継続させていく。						
		実績値		112	118												
		達成率 (%)		95.7	96.7												
百貨店等常備品商品数 (累計)	商品	目標値	90	95	100	105	110	115	物産展やレストランフェアを通して、事業者とバイヤーとの調整や支援を行った。	コロナ禍で物産展等の開催が困難な状況で実際にバイヤーの目に触れる機会が限られているが、イオン島原店浜屋サロンで商品が扱われる等、常備品を増加することができた。また、初めて開催したオンライン商談会において、事業者がバイヤーとの商談を継続するように働きかけた。	県外での物産展等の開催は困難ではあるが、レストランフェアを通じた本市一次産品のPRやオンライン商談会での新たな販路の拡大に繋げていく。						
		実績値		94	99												
		達成率 (%)		98.9	99.0												

政策分野	区分		重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
	3. 地域の活力を育む人材の育成を図る														
	(1) 人材育成によるキャリア形成と労働環境の改善														
	中小企業	大学の受講者数	人	目標値	2	5	5	5	5	5	中小企業大学校派遣事業費補助金の交付を行い、中小企業大学校へ従業員を派遣する事業所に対し支援を行った。	中小企業大学校派遣事業費補助金の交付により、中小企業者が経営能力の向上を図り、地域経済のリーダーとなる人材を育成を図った。	今後も事業を継続することにより、中小企業者が経営能力の向上を図り、地域経済のリーダーとなる人材の育成に努める。		
実績値					2	2									
達成率 (%)					40.0	40.0									
	資格取得者数 (累計)	人	目標値	37	67	82	97	112	127	建設業界における人材育成を図るため、土木建築関係の資格を取得した者に対し奨励金を支給。	当初予算決定額 合格者想定数と実績の比較 (比) R3 : 195千円 13人 21千円 1人 (11%) R2 : 225千円 15人 117.2千円 11人 (73%) H31 : 300千円 20人 153.8千円 5人 (25%)	令和3年夏の事業見直しに係る企画委員会での審議結果に基づき、第2期総合戦略の期間内は事業を継続し、次回計画策定時に事業を廃止する。	令和3年度事務事業評価の二次評価に基づき、市役所職員への補助は行わないものとする。		
実績値				53	54										
達成率 (%)				79.1	65.8										
	(2) 若者の地元就職の拡大														
	高校	新卒者の市内就職の割合	%	目標値	27	28	28	29	29	30	長崎県 (島原振興局地域づくり推進課)、島原市、雲仙市、南島原市、ハローワーク島原、ハローワーク諫早、島原商工会議所、有明町商工会などと連携し、「島原半島若者定着促進協議会」を平成29年度に立ち上げ、島原半島企業ガイドブックの作成をはじめ、高校3年生を対象に企業説明会を実施し、地元企業を知ってもらう機会を創出した。	令和3年度卒業者のうち就職者は31% (98人)うち市内就職24% (24人)、県内就職37% (36人) 県外就職39% (38人) という結果だった。市内就職率は令和2年度の26%から24%に減少したが、県内就職率は令和2年度の25%から37%に上昇している。	高校生、教員からは高い評価を得ているほか、地元企業を知ってもらう数少ない機会であるため、継続して実施していきたい。	就職者の割合が年々減少している。高校卒業後だけでなく、大学や専門学校を卒業した後に地元に戻ってくるという選択をできる環境が必要だと考えられる。	
実績値					26	24									
達成率 (%)					92.8	85.7									
	(3) 安定的な雇用機会の創出														
	トライアル	雇用受給者数	人	目標値	15	16	17	18	19	20	国のトライアル雇用奨励金制度に市が上乗せして補助金を支給する制度について、商工会議所や商工会、ハローワークを通じて周知を行った。	市単独支援制度は平成28年度からの事業で、年度平均1.75件と少ない実績であったことから令和2年度で終了したため、R3実績なし。	市単独支援制度は令和2年度で終了したが、国の制度は継続するため、安定的な就職が困難な求職者について、常用雇用へ移行ができるよう制度の周知等を行っていききたい。		
実績値					3	0									
達成率 (%)					18.7	-									
II. 新しいひとの流れをつくる															
	移住・定住者数	人	目標値	50%	60	70	80	90	100	新型コロナウイルスの影響が続いている中で、東京での移住相談会のみ対面で実施することができたが、その他の都市部での相談会はオンライン形式での参加となった。また、市独自の相談会を8月と1月の2回、島原市役所で実施し、さらには、個別相談の申込があればその都度オンラインでの個別相談を実施した。	対面式での相談会がオンライン形式へと変更はあったものの、オンラインの普及もあり、移住実績は令和2年度から比較すると増加に転じていること、目標の80%まで達した。	対面式だけでなく、オンラインを活用した相談対応を取り入れ、移住相談者の増加に組みたい。また、定住・移住サイトを活用するとともに、SNS等での情報発信を強化し、さらなる移住の推進を図る。			
実績値				44	59										
達成率 (%)				73.3	84.2										
	観光	入込客数	千人	目標値	1,382	1,392	1,397	1,402	1,407	1,412	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、まん延防止等重点措置等が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客の回復には至らず、引き続き観光産業に甚大な影響を及ぼしており、入込客数は達成率が46%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
実績値					697	643									
達成率 (%)					50.0	46.0									

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
			宿泊客数	千人	目標値	223	253	256	259	262	265	<p>島原観光ビューローと連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) <p>○新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、宿泊客数は達成率が60%と落ち込んだ。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、シオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>	
		実績値				152	154								
		達成率 (%)					60.0	60.1							
			観光消費額	億円	目標値	134	146	159	172	185	198	<p>島原観光ビューローと連携した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) <p>○新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○ロケツアーによる島原魅力アップ事業 ○スポーツキャンプ・大会の誘致 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、観光消費額は達成率が54.7%と落ち込んだ。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、シオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>	
		実績値				89	87								
		達成率 (%)					60.9	54.7							
1. 移住・定住施策を充実させるとともに、関係人口の幅広い活用を推進する															
(1) 移住・定住対策の推進															
			移住者数	人	目標値	50%	60	70	80	90	100	<p>新型コロナウイルスの影響が続いている中で、東京での移住相談会のみ対面で実施することができたが、その他の都市部での相談会はオンライン形式での参加となった。また、市独自の相談会を8月と1月の2回、島原市役所で実施し、さらには、個別相談の申込があればその都度オンラインでの個別相談を実施した。</p>	<p>対面式での相談会がオンライン形式へと変更はあったものの、オンラインの普及もあり、移住実績は令和2年度から比較すると増加に転じていることでき、目標の80%まで達した。</p>	<p>対面式だけでなく、オンラインを活用した相談対応を取り入れ、移住相談者の増加に取組みたい。また、定住・移住サイトを活用するとともに、SNS等での情報発信を強化し、さらなる移住の推進を図る。</p>	
		実績値				44	59								
		達成率 (%)					73.3	84.2							
			移住者への補助世帯数	世帯/年	目標値	0	2	2	2	2	2	<p>「広報しまばら」への掲載、市ホームページの随時更新、フェイスブックでの周知、島原新聞や長崎新聞の市役所欄への掲載、島原外港ターミナルビルに分譲地チラシの掲示、益・正月の帰省客を対象として島原駅に分譲地チラシを設置するなど売却促進及び移住・定住促進を図った。</p>	<p>令和3年度に仁田住宅団地の1区画を売却したが、県外からの若年世帯移住者への補助については、該当者がなく目標を達成出来なかった。</p>	<p>県外からの若年世帯の移住についてはハードルが高く、これまで実績もないため、令和4年度から市外からの若年世帯移住にも対象を広げた。対象者は土地代が実質0円や半額になるということを積極的にアピールしていく。</p>	
		実績値				0	0								
		達成率 (%)					-	-							

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
			空き家バンク登録件数 (累計)	件	目標値	15	33	43	55	70	90	平成30年度から定住・移住サイトを新たに創設し、空き家バンクのページを独自に設けることで周知方法の改善等を行ったほか、移住相談等で空き家バンクの登録物件を紹介し活用を推進を図っている。また、物件の登録においても本市の空き家バンク仲介事業者と連携し登録物件の増加を図った。	令和3年度に交渉成立した物件は2件でそのうち、1件は市外からの移住者が購入された。	制度の周知を目的として広報紙への掲載や不動産業者への制度説明などを行い空き家バンクの物件の充実を図る。また、空き家所有者若しくは今後空き家となる家屋を所有している方を対象とした、空き家バンク登録相談会を年2回開催し、空き家の利活用を推進する。	
					実績値		29	32							
					達成率 (%)		87.8	74.4							
			お試し住宅利用件数	件	目標値	0	5	7	10	10	10	島原市お試し住宅として物件所有者と賃貸借契約を結び、事業開始に向けて物品の調達や実施要綱の策定などを行った	令和3年度中の利用開始を目指していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業開始時期を延期し、令和4年度からの利用開始とした。	島原の魅力を直により多くの移住希望者に体験していただけるよう、ホームページはもとより多くの媒体でPRし利用促進を図ってきたい。	
					実績値		0	0							
					達成率 (%)		-	-							
(2) 関係人口の創出・拡大による地域活力の向上、移住者の視野の拡大															
			関係人口の創出、または拡大につながる取組数 (累計)		目標値	0	1	2	3	4	5	◎令和2年度 ・1月 公募型プロポーザルで選定された最優秀提案者と設計業務委託契約締結 ◎令和3年度 ・5月 設計業務完了 ・8月 一般競争入札により改修工事業者決定、工事着工。 ・3月 改修工事完成	当初予定では令和3年末に改修工事完了としていたが、古民家という特殊な物件の改修であったことや、コロナ禍による材料等の納期遅延等に不測の日数を要したため、工事完成時期が後ろ倒しになった。	改修工事と並行して、貸付の相手方 (施設運営事業者) 選定にかかるプロポーザルも実施。令和4年度末の施設運用開始を目指して市と事業者で調整、準備を行う。	
					実績値		1	1							
					達成率 (%)		100	50.0							
2. 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する															
(1) 令和6年(2024年)に築城400年を迎える島原城を核とした戦略的な観光施策の推進															
			島原城入館者数	千人	目標値	118	120	122	124	126	128	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、入館者数は達成率が52.4%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。	
					実績値		70	64							
					達成率 (%)		58.3	52.4							

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
			観光入込客数	千人	目標値	1,382	1,392	1,397	1,402	1,407	1,412	<ul style="list-style-type: none"> 島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城七万石物語事業 ○湧水城下町おもてなし事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・街中free Wi-Fi事業 (島原城内、島原城周辺、鯉の泳ぐまち周辺、市内4商店街、めぐりんバス車内) ・多言語案内板を使い、案内所に配備した「VRゴーグル」の「新たな活用方法」の開発 ・Free WiFi 網の整備完了 ・最新版のMR商品の開発 ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・ふるさと応援旅行券発行事業 ・GoToトラベルキャンペーン連携事業 ・観光客誘客コンテンツ造成導入事業 ・鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ・観光施設感染症防止対策事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○ロケツーリズムによる島原魅力アップ事業 ○浜の川湧水「銀水」賑わい創出事業 ○スポーツキャンプ・大会の誘致 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしております。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努めます。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>	
		実績値				697	643								
		達成率 (%)				50.0	46.0								
			宿泊者数	千人	目標値	223	253	256	259	262	265	<ul style="list-style-type: none"> 島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるリアプリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしております。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努めます。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>	
		実績値				152	154								
		達成率 (%)				60.0	60.1								

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値						目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6					
			観光消費額	億円	目標値	134	146	159	172	185	198	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、観光消費額は達成率が54.7%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
		実績値				89	87									
					達成率 (%)		60.9	54.7								
(2) ジオパークの観光資源の活用による持続的な地域経済の活性化																
			観光入込客数 (島原半島)	千人	目標値	3,382	3,397	3,412	3,427	3,442	3,457	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、観光消費額は達成率が75.7%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、島原城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
		実績値				2,906	2,583									
					達成率 (%)		85.5	75.7								
(3) スポーツ施設を活用したスポーツ・キャンプ等の誘致による交流人口の拡大																
			宿泊者数 (大会・キャンプ等)	千人	目標値	36	37	38	39	40	41	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、人の移動制限等により計画的な誘致活動が行えなかった。 【実績】 ■合宿・キャンプ、大会、イベント等の誘致数 ・合宿・キャンプ 23回 ・大会 7回 ・誘致数 9回 ■合宿・キャンプ、大会、イベント等の参加人数 ・合宿・キャンプ 748人 ・大会 3,767人	積極的に誘致活動の成果により、年々、参加人数及び延泊者数の増加や、合宿・キャンプ、大会の増加につながっており、県内外からの交流人口の増加や地域の活性化が図られていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人の移動制限やスポーツ施設の休館等の影響により計画的な誘致活動が行えず、達成率が37%と落ち込んだ。	市内の各スポーツ施設を最大限に利用し、フットサルチーム (Jリーグ) や実業団のバレー・陸上チーム、大学チームなどのキャンプをはじめ、全国規模の大会など多種多様な競技をターゲットとして積極的に誘致活動を行い、県内外からの交流人口の増加及びこれらによる観光振興及び地域の活性化を図る。		
		実績値				10	14									
					達成率 (%)		27.0	36.8								

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
			国際的な誘致や交流回数	件	目標値	2	3	3	3	3	3	<p>予定したオリンピックのスペインレスリングは出場権を獲得できなかったため、事前キャンプの実施はなかった。 ただし、パラリンピックのドイツ陸上競技は、予定通り8月に実施。 本キャンプでは、受入れ前に中高生100人が参加のもと、元パラリンピアンによる「パラ陸上競技観戦セミナー」を実施し、公開練習見学及び競技観戦のポイント説明及び事前キャンプドイツ選手の紹介などの説明を受け、より広い知識を習得する場を設ける。 また、受入れ後では「歓迎セレモニー」「オンラインによる採火式への参加」「選手団激励式及び練習会場見学会」を実施することができた。</p>	<p>ドイツパラ陸上事前キャンプ実施では、新型コロナウイルス感染症予防対策として、バルブ方式での対応となり、市民と直接触れ合う交流は出来なかったが、市内高校生のオンラインによる選手団激励会への参加や練習会場の見学により、親交を深めることが可能となり、また選手団から一人のコロナ感染者を出すことなく終えることができた。 参加した選手団からは、本市キャンプに対する満足の言葉や感謝の言葉を多くいただき、選手自ら自身のインスタグラムなどに滞在期間中の練習施設や宿泊施設などを投稿されており、その結果、国際的なキャンプ地としての良きPRに繋げることができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、不透明な部分は多いが、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの関係では、ドイツ・スペインはホストタウン協定を締結しており、スポーツを通じた相互交流を行うことを予定している。 ドイツについては、令和4年度に「神戸2022世界パラ陸上選手権大会」が予定があり、事前キャンプの事後交流を検討していたが、コロナの影響により2024年5月延期される。ただし、ドイツやスペインにジュニア交流などの意向があることや、スイス剣道連盟が本市でのナショナルチームのキャンプを行いたいとの連絡をいただいていることから、実施に向けた取組を進めていく。</p>	<p>【メッセージ動画送信】 ①市内小中学校給食におけるドイツ料理の提供 ②おもてなし料理考案提供 ・市内高校生が、おもてなし料理を考案 ③外務省大臣官房地方連携推進室との連携 ・パラリンピック事前キャンプの成果を外務省ホームページや外務省SNSに掲載し、島原を世界に発信。 ④内閣官房オリパラ事務局との連携 ・ドイツをホストタウンする市町がリレー方式でメッセージ動画を作成 ⑤FMラジオHOST Town RADIO「HOST TOWN FIELD REPORT」へ市長出演</p>
		実績値				2	1								
		達成率 (%)					66.6	33.3							
(4) 多様化する旅行形態に対応した民泊による体験学習、体験型観光の推進															
			宿泊者数 (学生)	千人	目標値	52	53	54	55	56	57	<p>SNS等を活用しての情報発信等に努めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、人の移動制限等により計画的な誘致活動が行えなかった。 【実績】 ■修学旅行の実績 165校</p>	<p>島原半島観光連盟等の関係団体との連携により修学旅行誘致や積極的なスポーツ大会・合宿等の誘致により、年々、宿泊客数(学生)の増加につながっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人の移動制限やスポーツ施設・観光施設の休館等により計画的な誘致活動が行えず、達成率が52%と落ち込んだ。</p>	<p>島原観光ビューローや島原半島観光連盟等を連携を図りながら、体験型観光・周遊型観光の推進に努め、交流人口の増加、観光振興の活性化に努める。</p>	
		実績値				17	28								
		達成率 (%)					32.0	51.8							
			かんざらし手づくり体験数	人	目標値	3,317	3,370	3,420	3,470	3,520	3,570	<p>SNS等を活用しての情報発信等に努めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人の移動制限や観光施設の休館等に計画的な活動が行えなかった。 島原観光ビューローと連携した取り組み ○湧水城下町おもてなし事業 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、かんざらし体験者数は達成率が2%と落ち込んだ。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、城築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>	
		実績値				674	59								
		達成率 (%)					20.0	1.7							

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値					目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5					
		(5) 外国人観光客を受け入れるための環境整備、情報発信の推進													
		外国人入館者数 (島原城、四明荘、清流亭)	千人	目標値	16	17	18	19	20	21	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症の拡大・流行により海外からの入国停止などの影響により、達成率が1.1%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
	実績値		2	0.2											
	達成率 (%)			11.7	1.1										
		宿泊者数 (外国人)	人	目標値	5,542	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000	島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症の拡大・流行により海外からの入国停止などの影響により、達成率が5.9%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、ジオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
	実績値		576	385											
	達成率 (%)			9.6	5.9										
		(6) 景観計画													
		街なみ環境整備事業取組件数	件	目標値	0	2	3	4	5	6	類似制度の街なみ環境整備事業と武家屋敷街なみ保存整備事業との制度の区別を図や表を用いわかりやすく整理しワンペーパーで配布 意向調査の実施については、内部決裁後に新型コロナウイルス感染が懸念されたため、調査票は未配布のままとなっている	下の丁町内会から制度の違いがわかりやすいと評価をいただいた。	新型コロナウイルス感染も減少傾向にあり、意向調査を行う。		
	実績値		0	0											
	達成率 (%)			-	-										

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値						これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
3. 広域交通網・二次交通の充実による交流の拡大															
(1) 1号機関車をモチーフにした観光列車の導入															
			鉄道による観光入込客数	千人	目標値	11	11	11	11	12	13	西九州新幹線開業半年前イベントとして、諫早駅で「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図った。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に、インスタ映えスポットとして県内外から多くの観光客が訪れている。	「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図ることができた。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に新たなロケ地としての放送にも繋がっており、現在でも多くの観光客が見受けられる。	島鉄としても新幹線の開業をチャンスと捉え、新幹線接続に合わせた土日祝日のダイヤ改正や諫早駅ホームに島原半島の玄関口をPRする観光案内板の設置。今後も市の観光担当部署やシティプロモーション課などと連携し積極的に情報発信を行い、観光客の誘致を行っていく。また、燃油価格の高騰により経営状況がさらに厳しくなっている公共交通事業者への支援事業を行っている。(R4.10~)	
			実績値		8	8									
			達成率 (%)		72.7	72.7									
(2) 鉄道沿線の活性化による公共交通の利用促進															
			鉄道による観光入込客数	千人	目標値	11	11	11	11	12	13	西九州新幹線開業半年前イベントとして、諫早駅で「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図った。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に、インスタ映えスポットとして県内外から多くの観光客が訪れている。	「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図ることができた。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に新たなロケ地としての放送にも繋がっており、現在でも多くの観光客が見受けられる。	島鉄としても新幹線の開業をチャンスと捉え、新幹線接続に合わせた土日祝日のダイヤ改正や諫早駅ホームに島原半島の玄関口をPRする観光案内板の設置。今後も市の観光担当部署やシティプロモーション課などと連携し積極的に情報発信を行い、観光客の誘致を行っていく。また、燃油価格の高騰により経営状況がさらに厳しくなっている公共交通事業者への支援事業を行っている。(R4.10~)	
			実績値		8	8									
			達成率 (%)		72.7	72.7									
(3) 半島内公共交通の再編による利便性向上															
			鉄道による観光入込客数	千人	目標値	11	11	11	11	12	13	西九州新幹線開業半年前イベントとして、諫早駅で「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図った。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に、インスタ映えスポットとして県内外から多くの観光客が訪れている。	「原寸段ボール・1号機関車 (島鉄型)」を展示し、県南4市で物産展を開催することで開業に向けた気運醸成を図ることができた。また、島鉄の大三東駅では、キリンレモンCM放送後を機に新たなロケ地としての放送にも繋がっており、現在でも多くの観光客が見受けられる。	島鉄としても新幹線の開業をチャンスと捉え、新幹線接続に合わせた土日祝日のダイヤ改正や諫早駅ホームに島原半島の玄関口をPRする観光案内板の設置。今後も市の観光担当部署やシティプロモーション課などと連携し積極的に情報発信を行い、観光客の誘致を行っていく。また、燃油価格の高騰により経営状況がさらに厳しくなっている公共交通事業者への支援事業を行っている。(R4.10~)	
			実績値		8	8									
			達成率 (%)		72.7	72.7									
			バスによる観光入込客数	千人	目標値	11	11	11	11	12	13	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、県外移動の自粛だけに留まらず、不要不急の外出の自粛も求められた時期もあり、交通事業者にとって大変難しい状況であった。R3.10には市内バス路線が大幅に廃止されることを受け、コミュニティバスの運行形態を見直し、「予約・あいのり・たしろ号」として交通空白地域を埋め、利用者の利便性の向上を図った。	本市においても路線バスに対し財政支援を行っているが、R2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により特に利用者数が減少している状況であった。利用者の減少はもとより、慢性的な運転手不足等により、運行事態が難しく、減便が余儀なくされ、R3.10には市内路線バスが大幅に廃止された。これを受け、コミュニティバスの運行形態を見直し、「予約・あいのり・たしろ号」として交通空白地域を埋め、利用者の利便性の向上を図ることができた。	新幹線開業に伴い、鉄道と同様に新幹線接続に合わせた土日祝日のダイヤ改正を行った。(R4.9.23~) また、燃油価格の高騰により経営状況がさらに厳しくなっている公共交通事業者への支援事業を行っている。(R4.10~) 今後も路線バス、鉄道、タクシー、コミュニティバスとそれぞれの役割を整理しながら、本市にとって最適な運行形態を模索しながら、コミュニティバスの改善を図っていく。	
			実績値		7	6									
			達成率 (%)		63.6	54.5									

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値						これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
			航路による観光入込客数	千人	目標値	1,092	1,101	1,106	1,110	1,116	1,121	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により不要不急の外出の自粛も求められた時期もあり、減便させたりと航路事業者にとって大変難しい状況が続いた。R3.11月には高速船利用促進を目的として大牟田市モニターツアーを実施した。	高速船の利用促進及び両市の観光連携協定に基づく取り組みとして、大牟田市モニターツアーを実施。歴史的につながりが深い口津港に訪問した後、午後から島原市内の観光を行った。島原の魅力をPRすることができ、一定の利用促進に繋がった。	航路事業については市民の生活面での移動手段としてはもとより観光面においても重要な移動手段であることから、市内交通網とのアクセス性の向上に向け、島原鉄道や関係団体と引き続き協議を行うとともにコミュニティバスの改善を図っていく。R5年度にも、高速船を利用して島原市内を巡るモニターツアーを実施する予定である。また、燃油価格の高騰により経営状況がさらに厳しくなっている公共交通事業者への支援事業を行っている。(R4.10~)	
					実績値		552	502							
					達成率 (%)		50.1	45.3							
(4) 有明海対岸 (熊本・大牟田)、天草地域との連携															
			航路による観光入込客数	千人	目標値	1,092	1,101	1,106	1,110	1,116	1,121	旅行雑誌・情報誌等による情報発信に取り組んだ	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、人の移動制限等により、効果的な県外(福岡・熊本)での誘客活動(PRイベントへの参加)が出来ず、航路による観光入込客数は達成率が45%と落ち込んだ。	西九州新幹線の開業により、人や物の交流の活発化が見込まれることから、有明海航路を最大限に活用し、長崎・鹿児島ルートとの連携、活用が重要であることから九州横軸の連携を強化するとともに、福岡や熊本方面での誘致活動をはじめ、インターネットや各種宣伝媒体を活用しながら旬の情報を効果的に発信に努め、広域観光連携の推進に努める。	
					実績値		552	502							
					達成率 (%)		50.1	45.3							
(5) 道路の整備															
			市道改良率	%	目標値	52.9	53.0	53.0	53.1	53.1	53.2	堀町縦線の事業推進(弁天町工区 工事実施)	堀町縦線(弁天町工区)の供用開始	堀町縦線(水頭工区 用地交渉)	
					実績値		53.0	53.2							
					達成率 (%)		100	100.3							
			都市計画道路整備率	%	目標値	83.1	83.1	84.0	84.0	85.8	85.8	霊南山ノ神線(上の原工区)の一部供用開始を行った。また、安徳新山線(南下川尻工区)、親和町湊広場線(下川尻工区)の道路用地取得を進め、事業の進捗を図っている。	目標達成に向け進んでいる。	引き続き、霊南山ノ神線(上の原工区)及び安徳新山線(南下川尻工区)、親和町湊広場線(下川尻工区)の整備を行う。	
					実績値		83.2	83.9							
					達成率 (%)		100.1	99.8							
Ⅲ.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる															
			イベント等によるカップル成立数	組/年	目標値	20	22	24	26	28	30	市主催マッチングイベントを年に2~3回開催してきたが、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント等の開催は自粛。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント開催は極力自粛したが、少人数(5対5)短時間のお見合いイベントを感染対策を講じた上で1回開催。マッチングにはつながらなかったものの、久しぶりの対面イベントで参加者にも好評であった。	感染拡大の状況も見ながら、徐々にイベント実施をコロナ前のペースに戻し、結婚を望む方々への出逢いの機会創出を図る。	
					実績値		0	0							
					達成率 (%)		-	-							
			合計特殊出生率		目標値	1.93 (H29)	1.96	2.00	2.03	2.07	2.10	結婚を希望する人への出会いの場の提供をはじめ、不妊治療への助成や妊娠・出産にかかる支援などに取り組んだ。また、乳幼児の育児用品代や保育所等での副食費の一部助成を始め、保育料の軽減及び第二子からの保育料の無償化、中学生までの医療費の助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むとともに、延長保育事業や放課後児童健全育成事業など、各種子育て支援事業を実施した。	令和2年の本市の合計特殊出生率は、1.68で目標値の1.96を下回ったものの、県平均(1.61)、島原半島3市平均(1.61)を上回っている。 ※市町別の合計特殊出生率は、実績年の2年後に発表されるため、令和3年の実績値は、令和2年の数値である。	出産から子育て期における切れ目のない、子どもたちを安心して育てることができる環境づくりに引き続き取り組んでいく。	
					実績値		1.89	1.68							
					達成率 (%)		96.4	84.0							
1. 出逢いから結婚、出産、子育ての切れ目のない支援を行う															
			(1) 地域に合った、出逢いから家庭づくりの支援												
			イベント等によるカップル成立数	組/年	目標値	20	22	24	26	28	30	市主催マッチングイベントを年に2~3回開催してきたが、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント等の開催は自粛。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント開催は極力自粛したが、少人数(5対5)短時間のお見合いイベントを感染対策を講じた上で1回開催。マッチングにはつながらなかったものの、久しぶりの対面イベントで参加者にも好評であった。	感染拡大の状況も見ながら、徐々にイベント実施をコロナ前のペースに戻し、結婚を望む方々への出逢いの機会創出を図る。	
					実績値		0	0							
					達成率 (%)		-	-							

政策分野	中項目	小項目	重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)	
						H30	R2	R3	R4	R5	R6					
			(2) 子育て世代の経済的負担軽減のための支援													
			合計特殊出生率			目標値	1.93 (H29)	1.96	2.00	2.03	2.07	2.10	結婚を希望する人への出会いの場の提供をはじめ、不妊治療への助成や妊娠・出産にかかる支援などに取り組んだ。また、乳幼児の育児用品代や保育所等での副食費の一部助成を始め、保育料の軽減及び第二子からの保育料の無償化、中学生までの医療費の助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組むとともに、延長保育事業や放課後児童健全育成事業など、各種子育て支援事業を実施した。	令和2年の本市の合計特殊出生率は、1.68で目標値の1.96を下回ったものの、県平均(1.61)、島原半島3市平均(1.61)を上回っている。 ※市町別の合計特殊出生率は、実績年の2年後に発表されるため、令和3年の実績値は、令和2年の数値である。	出産から子育て期における切れ目のない、子どもたちを安心して育てることができる環境づくりに引き続き取り組んでいく。	
実績値		1.89				1.68										
達成率(%)		96.4				84.0										
			(3) 保育サービスの充実													
			休日保育事業の実施箇所数	か所		目標値	4	5	5	6	6	7	休日保育の需要拡大を図るべく、ホームページへの掲載や入所申込み時の窓口での周知を行った。	休日保育事業の実施により、休日に家庭保育が困難な保護者の負担軽減につながった。また、令和3年10月から新規で事業を開始した施設もあり、受け皿の拡大ができています。	引き続き市内の認可保育所・認定こども園に対して、休日保育の制度説明を行っていくとともに、ホームページや広報での周知によりその需要拡大に努める。	
実績値		5				6										
達成率(%)		100				120										
			病児・病後児保育事業の実施箇所数	か所		目標値	3	4	4	5	5	6	病後児保育事業の運営にかかる助成を行うとともに、令和3年度に島原半島で初となる病児保育施設を持つ事業所に委託し、事業を行った。	病児対応型では、病気の回復期に至らない児童を、病後児対応型では、回復期の児童の預かりができ、保護者の負担が軽減された。また、病児対応型では、併設の医院があることで保護者が安心して児童を預けることができ、利用延人数も大幅に増大した。	子どもが病気の時、保護者が仕事を休めない場合に預かりができる施設に対し、引き続き支援を行い、安心して子育てができる環境づくりに引き続き取り組んでいく。	
実績値		4				2										
達成率(%)		100				50.0										
			(4) 仕事と家庭の両立支援のための預かりサービスの充実													
			放課後児童クラブの設置数	か所		目標値	12	13	13	14	14	15	運営に係る経費の助成を行い、クラブの開設を図ってきた。	共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供して、健全な児童の育成が図られた。	継続して事業を行い、共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供して、健全な児童の育成を図る。	
実績値		13				13										
達成率(%)		100				100										
			(5) ワーク・ライフ・バランスの啓発													
			家庭生活または地域活動と仕事を両立させていると答えた市民の割合	%		目標値	32.4	32.4	32.4	32.4	32.4	40.0	新型コロナウイルス感染症予防の観点から大規模なイベント等の開催はできなかったものの、県や半島3市で連携し、リーダー研修を開催したほか、「男女共同参画週間」「女性に対する暴力をなくす運動」などに併せてHP掲載やポスター掲示を行い、意識啓発を行った。	各種普及啓発活動にて、男女共同参画やワークライフバランス、女性活躍推進について、身近なものとして市民に考える機会を提供した。	第3次島原市男女共同参画計画に「ワーク・ライフ・バランスの推進」として具体的に施策を打ちだしており、引き続き、国や県と連携した意識啓発に取り組む。	
実績値		-				-										
達成率(%)		-				-										
			(6) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援													
			乳幼児健康診査受診率 4カ月児	%		目標値	98.0	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	乳児期の発達課題や、保護者の養育環境を専門的に把握し、適切な支援と環境調整を行った。	子育て中の保護者が抱える問題は多様化しており、健診を通じ、個別の相談内容に丁寧に対応することで、疾病の早期発見のみならず、産後のメンタルヘルスクア、虐待問題などの課題解決へと繋がっている。	小児科、産婦人科を含む関係機関との連携強化し、妊娠・出産・子育て世代の支援体制が包括的に行われるよう、ネットワーク構築を目指す。	
実績値		97.7				98.9										
達成率(%)		99.1				100.4										
			乳幼児健康診査受診率 1歳6カ月児	%		目標値	96.1	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	幼児期の発達課題や、親子関係等を把握し、児の潜在的な成長発達の可能性を伸ばしていけるよう適切な支援を行った。	子育て中の保護者が抱える問題は多様化しており、健診を通じ、個別の相談内容に丁寧に対応することで、疾病の早期発見のみならず、障害児の発達支援、虐待問題などの課題解決へと繋がっている。	小児科、産婦人科を含む関係機関との連携強化し、妊娠・出産・子育て世代の支援体制が包括的に行われるよう、ネットワーク構築を目指す。	
実績値		97.5				96.7										
達成率(%)		101				100.2										
			乳幼児健康診査受診率 3歳児	%		目標値	95.5	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	幼児期の発達課題や、家庭環境等を把握し、生活習慣の自立に向けて、その特性を生かして社会性、創造性の発達に結びつけた世話ができるよう支援を行った。	子育て中の保護者が抱える問題は多様化しており、健診を通じ、個別の相談内容に丁寧に対応することで、疾病の早期発見のみならず、障害児の発達支援、虐待問題などの課題解決へと繋がっている。	小児科、産婦人科を含む関係機関との連携強化し、妊娠・出産・子育て世代の支援体制が包括的に行われるよう、ネットワーク構築を目指す。	
実績値		95.0				97										
達成率(%)		98.9				101.0										
			乳幼児健康診査受診率 5歳児	%		目標値	96.4	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	幼児期の発達課題や、家庭環境等を把握し、児の行動を客観的に捉え、その特性を生かして社会性の発達、就学に関わる支援ができるよう指導を行った。	子育て中の保護者が抱える問題は多様化しており、健診を通じ、個別の相談内容に丁寧に対応することで、疾病の早期発見のみならず、障害児の発達支援、就学支援、虐待問題などの課題解決へと繋がっている。	小児科、産婦人科及び学校関係機関との連携強化し、妊娠・出産・子育て世代の支援体制が包括的に行われるよう、ネットワーク構築を目指す。	
実績値		96.9				95.7										
達成率(%)		99.8				98.6										

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)				
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6								
		特定不妊治療費助成件数	件(延)	目標値	32	35	35	35	35	35	特定不妊治療の助成を行うことで、申請者の経済的負担を軽減し、子どもを望む夫婦の不妊治療を支援した。	特定不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減は図られているが、出生数の増加に結び付けるのは難しい現状がある。	関係機関（保健所、産婦人科、県内不妊治療実施医療機関）と協力し、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに努める。						
				実績値		24	31												
				達成率 (%)		68.5	88.5												
			産後ケア事業利用件数	件(実)	目標値	31	35	35	35	35					35	母子手帳交付時、全妊婦に対して丁寧に個別面接を行い事業を紹介した。ハイリスクと予想される妊娠については、支援プランを立案し、プランに基づき支援を行い、必要時事業紹介を行うなど継続的支援により、タイムリーに利用に繋がった。	妊娠中から不安に寄り添いながら丁寧に継続支援を行い、妊婦の気持ちの安定に繋がっている。また、産後も早期に介入し、不安に寄り添い丁寧に支援することで、産婦の精神的安定が図れている。	母子手帳交付時、妊婦の全数面接を実施し、妊娠前から産後うつ予防を図り、子育て世代包括支援センターの運営により、安心して、妊娠、出産、子育てができる環境に向けてさらに強化していく。	
					実績値		44	39											
					達成率 (%)		125.7	111.4											
		(7) 在宅で子育てをしている家庭への支援																	
		乳児家庭全戸訪問事業による訪問率	%	目標値	95	100	100	100	100	100	対象者に対し母子健康手帳交付時や出生届時、広報誌掲載で事業の周知を図り、スムーズに訪問が行えるよう取り組んだ。訪問内容や質が一定に保たれるように乳児家庭訪問員を対象に年に3回研修会を開催した。	家庭訪問を行い、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては保健センターや養育支援事業につなげ、育児の相談や助言を行い、育児負担の軽減に努めた。	保健センターなどの関係機関と連携し、安心して子育てができるよう引き続き取り組んでいく。						
				実績値		99.3	97.8												
				達成率 (%)		99.3	97.8												
IV. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る																			
		島原病院の医師数	人	目標値	31	31	31	31	31	31					長崎県病院企業団をはじめと関係機関への要請を重ね、脳神経外科が1名増員されたが、整形外科・泌尿器科が1名ずつ計2名減員され、全体として1名の減員となった。	長崎県病院企業団をはじめ、関係機関の協力により、目標数を概ね達成している。	眼科など医師不在の診療科目もあるため、今後も引き続き医師確保に向けて長崎県病院企業団をはじめ、関係機関への要請を行っていく。		
				実績値		30	29												
				達成率 (%)		96.7	93.5												
		一般廃棄物のリサイクル率	%	目標値	19.70	21.73	22.75	23.76	24.78	25.80	「4万人のごみ減量プロジェクト」(1人1日850gまで減量化推進)→R4.3月末実績94.7g(対前年比58g減) ⇒プロジェクトにかかる各種施策を実施 ○雑がみ回収袋の世帯配布 ○市庁舎ごみ減量推進委員の選任 ○水切り隊による水切り運動 ○プロジェクト協力団体の登録 ○プロジェクトの周知・PR	リサイクルと表裏一体であるごみ減量の取組としては、大きな成果が出ており着実に推進されているが、指標としている環境省調査が前々年度分までしか公表されないため、数値的な成果として表れていない。	引き続き「4万人のごみ減量プロジェクト」にかかる各種施策を推進し、ごみ減量と平行してリサイクル率の向上に努める。						
				実績値		20	20												
				達成率 (%)		92.0	87.9												
1. 定住環境向上への取組																			
(1) 島原版コンパクトシティと周辺等との交通ネットワークの形成																			
		島原城入館者数	千人	目標値	118	120	122	124	126	128					島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、入館者数は達成率が52.4%と落ち込んだ。	城下町としての歴史や風情、景観、シオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。		
				実績値		70	64												
				達成率 (%)		58.3	52.4												

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値					目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)	
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5						R6
			商店街歩行者通行量 (人/9h)	人	目標値	4,733	4,733	4,733	4,733	4,733	4,733	商店街の実態を把握するため、歩行者の通行量調査を実施。(令和3年度は、2回実施)	令和3年度は新型コロナで外出自粛などの影響もあり、前年よりさらに6百人ほど減少。	今後も、引き続き調査を実施し、歩行者通行量の実態把握に努める。	令和4年3月のイオン島原店のオープンにより、人の流れが、商店街に戻ることが期待される。	
					実績値		3,273	2660								
					達成率 (%)		69.1	56.2								
			観光入込客数	千人	目標値	1,382	1392	1397	1402	1407	1412	<ul style="list-style-type: none"> 島原観光ビューローと連携した取り組み ○島原城築城400年武将隊PR事業 ○観光客誘致事業等補助金 ○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 ○地域の観光資源の磨き上げ実証事業 ○島原めぐり事業 ・しまばらめぐりんバス ・VRやMR技術を利用したソフトによるバリアフリー商品の開発 ・車、鉄道、バスに加え第4の二次交通網として「電動アシスト付き自転車網」を構築 島原城：(大7、小2) 島原港：(大5、小2) 清流亭：(大3、小2) ○新型コロナウイルス感染症対策事業 ・島原に泊まって得するキャンペーン事業 ○島原城における夜型観光の推進など ・島原城夜の陣、キャッスルモンスター ○九州オルレ「島原コース」の推進 ○スポーツキャンプ・大会の誘致 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、人の移動制限や観光施設の休館等により、市内の観光客及び宿泊客が大幅に減少するなど観光産業に甚大な影響を及ぼしており、入込客数は達成率が4.6%と落ち込んだ。</p>	<p>城下町としての歴史や風情、景観、シオの恵みである豊富な湧水など、地域特有の資源を最大限に活かした周遊型・滞在型・体験型観光を推進するため、島原観光ビューローなどの関係団体と連携を図り、情報発信に努める。また、西九州新幹線の開業、築城400年を見据えた観光インフラの構築をはじめ、スポーツ大会・合宿等の積極的な誘致、九州オルレ「島原コース」と周辺コースと連携によるイベントの開催など、交流人口の増加、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図る。</p>		
					実績値		697	643								
					達成率 (%)		50.0	46.0								
(2) 憩いの場である公園や広場の整備																
			愛護団体等を活用した団体数	団体	目標値	1	2	4	6	8	10	住民組織に対し、愛護団体の登録を周知した。	令和3年度に1つの団体が愛護団体として登録。	今後も公園の適切な維持管理のため、住民組織に対し愛護団体登録を促すよう制度の周知を行う。		
					実績値		2	1								
					達成率 (%)		100	25.0								
(3) 住環境の整備																
			市営住宅戸数	戸	目標値	961	943	935	933	931	921	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画に基づき、 ・廃止計画団地の入居者移転(3団地、8人)【桜馬場住宅4人、壺南住宅1人、梅園団地3人】 ・用途廃止(3団地、6棟22戸)【桜馬場住宅1棟4戸、稗田団地2棟4戸、梅園団地3棟12戸】 ・廃止計画団地の建物解体(3団地、6棟16戸)【坂上住宅1棟6戸・稗田団地3棟6戸・杉山団地2棟4戸】 ・長寿命化する団地の建物改修(1団地、3棟30戸)【柏野住宅、つばき棟6戸・まつ棟12戸・ひのき棟12戸】を実施した。 	<p>個別施設計画に基づき廃止計画の団地の入居者の移転、用途廃止、建物解体、長寿命化を計画している団地の改修等は順調に進んでいる。稗田団地、杉山団地、坂上住宅については、個別施設計画策定時の廃止計画よりも前倒して進んでおり、維持管理費や土地借上料の減にもつながっている。</p>	<p>個別施設計画に基づき、廃止計画の団地については対象者の移転を推進し、空き棟から用途廃止を行い随時建物解体を行う。また、長寿命化を計画している団地については順次改修等を実施する。</p>		
					実績値		943	919								
					達成率 (%)		100	101.7								
			空き家バンク登録件数 (累計)	件	目標値	15	33	43	55	70	90	<p>平成30年度から定住・移住サイトを新たに創設し、空き家バンクのページを独自に設けることで周知方法の改善等を行ったほか、移住相談等で空き家バンクの登録物件を紹介し活用の推進を図っている。また、物件の登録においても本市の空き家バンク仲介事業者と連携し登録物件の増加を図った。</p>	<p>令和3年度に交渉成立した物件は2件でそのうち、1件は市外からの移住者が購入された。</p>	<p>制度の周知を目的として広報紙への掲載や不動産業者への制度説明などを行い空き家バンクの物件の充実を図る。また、空き家所有者若しくは今後空き家となる家屋を所有している方を対象とした、空き家バンク登録相談会を年2回開催し、空き家の利活用を推進する。</p>		
					実績値		29	32								
					達成率 (%)		87.8	74.4								
			汚水処理人口普及率	%	目標値	45.6	49.0	50.3	51.7	53.1	54.5	<p>浄化槽を設置するものに対し、補助金を交付することにより汚水処理普及率の向上を図った。</p>	<p>令和2年度に156基、令和3年度に155基に対し、補助金の交付を行った。</p>	<p>令和4年度から浄化槽設置に対する上乗せ補助や宅内配管の補助、便槽の撤去の補助を実施している。また共同浄化槽についても検討を行う。</p>		
					実績値		50.3	52.0								
					達成率 (%)		102.6	103.3								

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値					目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)	
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5						R6
(4) 水道水の安定供給と上水道施設の機能維持・増進																
			配水管路更新率	%	目標値	74.7	75.2	75.7	76.2	76.7	77.5	管轄更新等実績 (基準値 H30配水管延長 338,537.9m) (基準値 H30配水管更新累計延長 252,729.9m) R3 拡張(新設) 4644.35m 改良(改修) 1603.20m 計 6247.55m R2 拡張(新設) 316.0m 改良(改修) 3,092.3m 計 3,408.3m R元 拡張(新設) 396.1m 改良(改修) 2683.2m 計 3,079.3m	アセットマネジメント(ビジョン・経営戦略・基本計画)により、R12年度までは、年間約2~3kmの更新を計画しているところであるが、老朽管の更新は、有収率を向上させるためにも必要であることから左記のとおり更新を行い目標値を達成するとともに有収率の向上も図ることができた。	引き続き目標値を達成できるよう現在計画している島原市水道事業経営戦略との整合性も図りながら計画的に管轄更新を行う予定であるが、R5年度までは、安中配水池耐震化事業及び中木場簡易水道統合事業に着手していることから老朽管の更新については微増になるものと思われる。		
		実績値				75.9	76.3									
		達成率(%)					100.9	100.7								
			有収率	%	目標値	77.2	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	Oアセットマネジメント等策定 R2年度において、島原市水道事業ビジョン・経営戦略・基本計画を策定した。 O配水管の更新 上記のとおり O漏水調査区域の拡大 R2年度から漏水調査区域を有明地区のみだったものを市内全域に拡大した。 O漏水修繕件数 R3 355件 R2 349件 R元 297件	アセットマネジメントを策定したことで長期的な視点での施設更新計画等を策定し、水道事業の健全な運営を目指す数値目標を掲げることができた。 老朽管の更新についてもアセットマネジメントで計画をもとに、上記のとおり実施することができ、また、R2年度から漏水調査を市内全域に拡大し、修繕対応していることが有収率の向上に寄与したと思われる。 こうした長期ビジョンによる計画的な管路の更新と漏水早期の修繕対応により目標値である数値を大きく上回ることができた。	新たな目標として、全国の同規模(給水人口3~5万人)事業所の有収率全国平均89.82%(R2)並びに県平均有収率84.24%を目指し、引き続き現在の有収率を維持及び向上させることができるよう早期の漏水対応をはじめ、各種対応を行う。		
		実績値				80.9	81.2									
		達成率(%)					103.7	103.4								
2. 教育の充実																
(1) 小・中学校学力向上対策の充実																
			全国学力学習状況調査	全国比	目標値	-2	1	1	1	1	2	1. 教員の指導力向上 (1) 学校訪問・巡回訪問による指導 (2) 学力向上研修会の実施(年2回) 2. 人的リソースの活用 (1) 学習支援員・学校司書の配置 (2) 外部講師招聘(大学教授を含む) 3. 物的リソースの活用 (1) 市学力調査の実施(小2~4、中1・2) (2) 東京書籍Web問題データベースの活用	全国学力学習状況調査の結果から、小学校国語で全国平均を1.3ポイント、算数で0.8ポイント上回っている。中学校国語では、全国平均を0.6ポイント、数学で1.2ポイント下回った。学校訪問や学力向上研修会等で指導助言を行い、学校全体で学力向上に向けた具体的な取組を講じている。また、人的・物的リソースを活用し、一人一人の特性に応じた教育活動が行われている。	目標の実績値をさらに向上させるために、1.と2.の項目はこれまでの取組を継続し、教員の世代交代への対応や若手教員の指導力向上、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。3(2)の項目についてはGIGAスクール構想に準じたデジタルドリルを整備し、主体的に学び、より確かな学力を身に付けるような取組につなげる。	小・中学校連携の重要性を考えたい。学校訪問や巡回訪問、学力向上研修会等において、学校種を越えて共通実践すべき事項を整理し、本市の児童生徒の学力向上につながるように教員の意識を統一していきたい。	
		実績値				-	1.075									
		達成率(%)					-	107.5								
(2) 放課後子ども学習室																
			参加児童数(1校平均)	人	目標値	17.9	20	21	22	22	22	市内全小中学校において、放課後の1時間から2時間程度、各学校の空き教室を活用し、自学の習慣を身につけさせるための宿題などの学習活動の支援を行った。ほとんどの学校で毎日行うことができた。	保護者や地域にとっては、児童生徒の安全で安心な居場所づくりとして大いに効果的であった。児童生徒にとって学習習慣の定着に効果があった。コロナ禍により密を避けるなどの措置を取ったことにより実績値は伸び悩んだ。	事業の成果は大いに感じられるので、今後も続けていく。現在も毎日でも参加したい児童生徒もいるが、コロナ禍のため曜日を限って参加させている。コロナ克服後は実績値も伸びると考えている。		
		実績値				18.8	20.6									
		達成率(%)					94.0	98.0								
(3) 「夢の教室」公演事業																
			実施学級数	学級	目標値	15	12	12	25	25	25	日本サッカー協会が派遣するスポーツ選手等を「夢先生」として招聘し、体験に基づく講義や実技指導をとおして、「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」を学ぶことの機会を提供し教育の充実を目指し、平成26年度から取り組んでいる。	「夢の教室」開催後の学校アンケートでは、教育効果につながり、苦しいことやつらいことを乗り越える強い気持ちを持つことの大切さなど感じてもらうことができているとの意見を多数いただいている。	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの実施となっているが、今後コロナの感染状況も踏まえ、対面方式での開催ができれば、効果も上がると考えている。		
		実績値				12	14									
		達成率(%)					100	116.6								

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値	目標数値					これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6				
(4) 奨学金制度															
		定住人数 (累計)	人	目標値	0	2	4	4	5	8	平成28年度に「ふるさとにもどってこねね奨学金」制度を創設し、平成29年度から募集を開始した。奨学生募集については、市広報やHPへの掲載、学校訪問、班回覧等を通し、積極的に情報発信を行ってきた。	奨学生採用数は上限3人に対し、平成29年度：2人、平成30年度：2人、平成31年度：2人、令和2年度：3人、令和3年度：3人であった。	今後については、引き続き促進していくため、次の取り組みを推進していく。 ・奨学金の対象者の要件の見直しを行った。(規則を一部改正し、令和3年度から適用)	平成28年度に制度創設のため、平成29年度までは目標数値 (定住人員) は定めていない。	
		実績値		2	3										
		達成率 (%)			100	75.0									
(5) プログラミング教育をはじめとするICT活用能力育成の機会の充実															
		実施講座数	回	目標値	3	4	5	6	7	7	長期休業中や土曜日の教室などで企画をしていたが、コロナ感染拡大防止のため、実施に至らなかった。	目標数値の達成をめざしたが、コロナ感染拡大防止のため、実施に至らなかった。	教室を実施するための、人材やノウハウはできつつあるので、感染拡大の動向を見極めながら公民館講座として実施できるよう、担当者が公民館主事に支援や助言を行っていく。		
		実績値		0	0										
		達成率 (%)			-	-									
3. 地域医療の確保と高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり															
(1) 基幹病院の医師確保や診療科目の充実															
		島原病院の医師数	人	目標値	31	31	31	31	31	31	長崎県病院企業団をはじめとし関係機関への要請を重ね、脳神経外科が1名増員されたが、整形外科・泌尿器科が1名ずつ計2名減員され、全体として1名の減員となった。	長崎県病院企業団をはじめ、関係機関の協力により、目標数を概ね達成している。	眼科など医師不在の診療科目もあるため、今後も引き続き医師確保に向けて長崎県病院企業団をはじめ、関係機関への要請を行っていく。		
		実績値		30	29										
		達成率 (%)			96.7	93.5									
(2) 小児の診療体制の確保・充実															
		島原病院の小児科医師数	人	目標値	2	2	2	2	2	2	県と島原半島3市が協調して、長崎大学等の関係機関と連携し、長崎県島原病院に2名の小児科常勤医師を確保した。	島原半島3市で、平日においては約3,600人/年、休日も約600人/年の受診があり、安心して子供を産み育て、健やかな成長を育む環境整備の一翼を担っている。	島原地域小児医療研究室 (平日) 及び休日診療事業とも、安定した小児医療体制の確保のため、今後も引き続き島原半島3市の連携とともに、事業継続のため長崎大学等の関係機関に協力を要請しながら、小児科常勤医師の確保に努める。		
		実績値		2	2										
		達成率 (%)			100	100									
		休日診療実施回数	回	目標値	52	52	52	52	52	52	県と半島3市が協調して島原病院に2名の小児科常勤医師確保に努めるとともに、長崎大学、医師会等の関係機関等と連携し、休日 (土曜日18時～日曜日17時) の診療事業を実施した。	半島3市で、平日においては約3,600人/年、休日も約600人/年の受診があり、安心して子供を産み育て、健やかな成長を育む環境整備の一翼を担っている。	島原地域小児医療研究室 (平日) 及び休日診療事業とも、安定した小児医療体制の確保のため、今後も引き続き半島3市の連携と共に、長崎大学、医師会等の関係機関に協力を要請しながら、事業を継続していく。		
		実績値		52	52										
		達成率 (%)			100	100									
(3) 高齢者の暮らしの充実と社会参加の促進															
		緊急通報システム新規設置者数	人	目標値	26	30	30	30	30	30	ひとり暮らし高齢者等の緊急時に備え、希望される方の自宅に簡単な操作で第三者に通報できる機会を設置し、安全確保及び不安解消を図っている。 対象者への周知については、市ホームページや広報しまばら、島原市地域包括支援センター発行の「ちからこぶ」への掲載等により積極的に情報発信を行った。 また、民生委員にも周知を図り、希望者の把握から申請、設置に繋がった。	令和3年度に救急車出動件数は5件で、利用者の緊急時に対応できている。また、月2回の健康状態の確認や機器の動作確認、利用者の健康相談にも随時対応し、高齢者の不安解消に大いに寄与している。	ホームページや広報掲載などによる情報発信を積極的に行い、対象者の把握に努める。		
		実績値		24	26										
		達成率 (%)			80.0	86.6									

区分			重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値						目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)
政策分野	中項目	小項目				H30	R2	R3	R4	R5	R6					
			老人クラブ新規会員数	人	目標値	255	250	250	250	250	250	老人クラブ連合会や単位老人クラブにおいて、スポーツ (ベタンク、グラウンドゴルフ等) や趣味 (民謡、囲碁等)、教室 (カラオケ教室、パソコン教室等) を計画・推進により、新規加入者の促進を図った。また、市老連だよりを作成し、単位老人クラブや公民館などに配布し、老人クラブの活動の周知や勧誘活動を行った。 市においては、長寿社会において高齢者の一人一人ができる限り健康で、社会における役割を持って生きがいのある生活を送るべく、幅広い活動を通して地域に貢献している老人クラブ連合会及び単位老人クラブあてに助成を行い、活動を促進した。	新型コロナウイルス感染症の影響による、各種行事やスポーツ、趣味、教室などが中止となったことから、新規加入者については、58人となった。	老人クラブ連合会と連携し、会員数の維持活動を行っていく。		
		実績値				67	58									
		達成率 (%)				26.8	23.2									
(4) 看護職員の確保																
			就学資金被貸与者数	人	目標値	1	5	5	5	5	5	少子高齢化に対応した市内の看護職員の確保・定着を図るため、島原市医師会と連携し、看護学校入学者のうち卒業後に市内の医療機関へ就業を希望する者に就学資金を貸与した。(市より元金を出資し、島原市医師会において貸与)	直近の5年間で、奨学金貸与者のうち3人が市内の医療機関に就業し、一定の効果が上がっている。	これまでの出資金及び貸与者からの償還金により、出資金なしで貸与が可能となっているため、引き続き市内看護職員の確保・定着に向け希望者への貸与を行っていく。		
		実績値				1	0									
		達成率 (%)				20.0	-									
4. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり																
(1) 消防・防災の整備																
			メール配信登録者数	人	目標値	2,367	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000	防災講話、研修会及び各種訓練などでの広報活動を行った。 また、市内の携帯電話会社4社及び青年会議所や社会福祉協議会に対してチラシの配布や登録の協力を行った。	目標数値には届いていないが、登録啓発活動により防災意識が醸成され、確実に登録者の増加に繋がっている。また、同様の情報発信であるライン登録者は5,445件と成果が出ている。	今後も、防災講話、研修会及び各種訓練などでの広報を続ける。また、防災メールと同様の情報を発信できるラインの機能を活かし、幅広い層への情報発信を行うとともに、6月をメール及びライン登録の強化月間として取り組んで行く。		
		実績値				3077	3116									
		達成率 (%)				102.5	89.0									
			地域防災マップ作成	自主防災会	目標値	56	67	76	84	92	100	各地区自主防災リーダー研修会や各地区の防災避難訓練の説明会時に説明を行った。	目標数値には届いていないが、自主防災会の再編活動に合わせて各町内会で地域の防災を考える機会が増え、防災マップの作製に繋がっている。	自主防災会の再編がすすみ、地域防災マップの認知度も高まってきている。令和4年度に霊丘地区及び杉谷地区の自主防災会が再編されたため、霊丘地区及び杉谷地区を中心に地域防災マップの作成をすすめる。		
		実績値				65	75									
		達成率 (%)				97.0	98.6									
			自主防災会長を分けている又は別に設けている組織数	自主防災会	目標値	30	80	105	130	155	180	霊丘地区・杉谷地区自主防災会を対象に再編設立に取り組んだ。	目標値には届いていないが、自主防災会の再編活動により再編された地区においては専任の自主防災会長を選出していただいていることから、さらなる自主防災会の再編設立に注力していきたい。	令和4年度は、有明地区を対象として来年度の自主防災組織の再選設立に向けて取り組んでいる。		
		実績値				65	73									
		達成率 (%)				81.2	69.5									
(2) 交通安全・防犯の推進																
			交通事故件数	件	目標値	143	140	135	130	125	120	年4回の交通安全運動期における啓発活動や各種交通団体と連携した交通安全活動の実施	事故件数は減っており、各種活動の効果が出ていると思われる。	毎月10日、20日、30日の交通事故「ゼロ」の日や交通安全運動期における啓発活動を引き続き実施し、市民の交通安全の機運を高める。		
		実績値				90	71									
		達成率 (%)				155.5	190.1									
			自動通話録音装置貸出数	台	目標値	160	210	260	310	360	410	班回覧等での周知のほか、各種行事やイベントの際にチラシを配布した。	目標数値には届かなかったが、迷惑電話が減った等の声も上がってきており、一定の効果がみられている。	装置の貸し出しについては引き続き行うほか、アンケート等による効果検証も並行して行い、より効果的な事業の推進を図る。		
		実績値				186	232									
		達成率 (%)				88.5	89.2									
(3) 高潮対策事業																
			市道冠水路線数	路線	目標値	6	6	6	0	0	0	・大潮時の巡回監視 ・その他異常な天然現象発生時の巡回監視 ・防災道路 (有馬船津5号線) の工事及び排水	長崎県が施工する防潮堤及び水門の整備と、島原市が施工する防災道路及び排水ポンプ場の整備による浸水防止対策に対する地元の期待。	<ul style="list-style-type: none"> ①水門の開閉タイミングを長崎県が主体となり協議を行い決定する。 ②排水ポンプの始動条件を精査する。 ・上記①②の協議・検討材料として、満潮時に実証実験を実施する。 		
		実績値				6	6									
		達成率 (%)				0	0									

政策分野	中項目	小項目	重要業績評価指標 (KPI)	単位	区分	基準数値					目標数値	これまでの具体的な取り組み (R3年度)	評価 (成果・効果等)	今後の取り組みや方向性について	その他 (備考等)	
						H30	R2	R3	R4	R5						R6
5. 環境にやさしいまちづくり																
(1) 低炭素社会の実現																
			エコドライブ講習会の開催回数	回/年		目標値	1	2	2	2	2	2	令和3年度は産業まつり会場で2日間にわたりエコドライブ講習会を開催し、ふんわりスタートや加速減速の少ない運転などシミュレーターを使ってエコドライブの効果を体験してもらい、環境負荷の少ない運転を呼び掛けた。	産業まつり会場で2日間にわたりエコドライブ講習会を開催したことにより、温暖化対策の周知が図れている。	産業まつりなどのイベント機会を利用して積極的に講習会を開催する。	
						実績値		2	2							
						達成率 (%)		100	100							
(2) 循環型社会の確立																
			一般廃棄物のリサイクル率	%		目標値	19.70	21.73	22.75	23.76	24.78	25.80	「4万人のごみ減量プロジェクト」(1人1日850gまで減量化推進) →R4.3月末実績947g(対前年比58g減) →プロジェクトにかかる各種施策を実施 ○雑がみ回収袋の世帯配布 ○市庁舎ごみ減量推進委員の選任 ○水切り隊による水切り運動 ○プロジェクト協力団体の登録 ○プロジェクトの周知・PR	リサイクルと表裏一体であるごみ減量の取組としては、大きな成果が出ており着実に推進されているが、指標としている環境省調査が前々年度分までしか公表されないため、数値的な成果として表れていない。	引き続き「4万人のごみ減量プロジェクト」にかかる各種施策を推進し、ごみ減量と平行してリサイクル率の向上に努める。	
						実績値		20	20							
						達成率 (%)		92.0	87.9							
			ごみのステーション化率	%		目標値	80.5	84.3	90.8	100	100	100	各地区町内会連絡協議会総会時に説明を行い、チラシを配布して協力依頼し、意向のある町内会長を訪問、場所決定・設置を行い、個別収集135箇所(世帯)を集約した。	目標はほぼ達成されている。 ※戸別収集：R3.3月末、2,109箇所 → R4.3月末 1,974箇所 ステーション世帯17669/全世帯19643 ＝ステーション化率90%	引き続き全体的なステーション化の周知を継続するほか、特に戸別収集箇所の多い地域やステーション設置が困難である地域を重点区域として、町内会長を訪問し設置にかかる調整・支援を行っていく。 また、現在の指標が実態と乖離していることから、指標自体の見直しを予定している。	
						実績値		89.4	90							
						達成率 (%)		106.0	99.1							
(3) 地下水の保全																
			硝酸性窒素等の濃度の環境基準超過率	%		目標値	47.1	50%以下	50%以下	50%以下	50%以下	50%以下	地下水に含まれる窒素濃度の低減の施策を検討するための関係者を招集しての会議の開催、畑作農家を対象とした施肥改善の研修会、畜産農家への家畜糞尿の堆肥化技術の普及活動と適正管理の指導、パンフレットの配布などを関係機関と連携して行った。	令和3年度のモニタリング調査の結果は、17地点の井戸のうち8地点の井戸が硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度が環境基準(水1リットルあたり10ミリグラム以下)を超過しているが、超過率は47.1%となり当初の10地点(58.8%)超過から2地点(11.7%)改善した。	今後も、関係機関と連携した施策により地下水の硝酸性窒素の低減に取り組む。	
						実績値		47.1	47.1							
						達成率 (%)		100	100							
6. 地域コミュニティの維持・促進																
(1) 地域コミュニティ活動の推進・支援																
			まちづくり協議会設立数	団体		目標値	0	1	2	2	3	3	まちづくり協議会の設立に向けた準備会やワークショップ、市職員等に対する研修会を開催したほか、先進地の視察研修も実施した。	当初、年度内のまちづくり協議会の設立を目指していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、準備会、ワークショップ等の開催見合わせを余儀なくされ、十分な意見交換や議論を深めることができず、設立までには至らなかった。	令和4年度においては、準備会やワークショップを随時開催するほか、県のアドバイザー制度等を活用した「職員や市民の意識改革等を目的とした研修会」を開催し、年度内の1団体の設立を目指す。	
						実績値		0	0				○第6回準備会 (R3.6.11) ○第7回準備会 (R3.7.8) ○第1回ワークショップ (R3.10.21) ○視察研修(長崎市香焼地区 R3.10.27) ○市議・市幹部向け研修会 (R3.11.18) ○第8回準備会 (R3.12.23) ○市職員・課長向け研修会 (R4.2.15)			
						達成率 (%)		-	-							
7. スマートシティ構想の推進																
(1) スマートシティ構想の推進																
			取組数(累計)			目標値	-	1	2	3	4	5	事業の主体として参画していた長崎自動車(株)が撤退し、事業の再考が必要となっている。	社会情勢の変化に伴い、事業のあり方自体の再考が必要となっている。	国が示しているデジタル技術活用の方向性を見ながら取組みを進めていく。	
						実績値		0	0							
						達成率 (%)		-	-							